



令和2(2020)年度

# ドイツのシュタットベルケに学ぶ 新たな地域経営手法

## ～地域エネルギー事業を核とした公共サービスの運営～

少子高齢化、人口減少による厳しい財政環境において、国民生活を支える地域インフラや公共サービスをどのように維持、更新していくかが重要な課題となっています。この研修では、ドイツのシュタットベルケ\*を参考に、地域エネルギー事業を中心とした公共サービスの運営により、地域に必要なインフラや公共サービスを持続可能なものへとつなげていく方策を考えます。

### \*「シュタットベルケ」って？

電力、ガス、水道、公共交通等、地域に密着したインフラサービスを提供するドイツの公益事業体です。ドイツ全土で約900あると言われており、地元の自治体によって出資されています。再生可能エネルギーの導入が進むドイツでは、地域資源を有効活用した地域エネルギー供給の取組が進んでおり、シュタットベルケはその中心的な役割を担っています。

### 開催要領

日程

令和2(2020)年6月22日(月)～6月24日(水) (3日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

市区町村等(所属部署、職名は問いません)の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。

募集人数

30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

10,200円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和2年5月11日(月)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。

経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] [kenshu@jiam.jp](mailto:kenshu@jiam.jp) [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和2年

6月  
22日(月)

- 11:00～ 入寮受付・昼食
- 12:30～ 開講・オリエンテーション
- 13:00～14:10 **講義 シュタットベルケに学ぶ新たな地域経営手法**  
 京都大学大学院経済学研究科 教授 諸富 徹氏  
 人口減少下の厳しい財政環境において、地域インフラや公共サービスの維持・更新等、地域の課題を解決するにはどのようにすればよいのか。新たな地域経営手法として今注目されているドイツのシュタットベルケから、日本の自治体が学ぶべきポイントなどについてお話しいただきます。
- 14:25～15:55 **講義 ドイツのシュタットベルケの仕組みと日本への適用に向けたポイント**  
 国土交通省国土交通政策研究所 研究官 小谷 将之氏  
 ドイツの事例をもとに、シュタットベルケの特徴や仕組みについて、その基盤となる制度や事業環境等とあわせてご解説いただくとともに、シュタットベルケの日本への適用に向けたポイントについてお話しいただきます。
- 16:10～17:00 **演習導入講義 日本の自治体における地域エネルギー施策の現状とシュタットベルケの導入方法**  
 京都大学大学院経済学研究科 教授 諸富 徹氏  
 シュタットベルケを日本で導入する場合のポイントや条件、その効果などについて、お話しいただきます。
- 17:30～ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和2年

6月  
23日(火)

- 9:25～10:35 **事例紹介① 米子市:地元の企業と連携した自治体新電力事業**  
 ローカルエナジー株式会社 専務取締役 森 真樹氏  
 米子市及び地元企業5社の出資により、エネルギーの自立を目指して設立された地域エネルギー会社。地方自治体と地元企業が連携し、公共施設への電力供給や減災対策としての蓄電池の設置、環境教育等、地域に貢献する事業に取り組んでいる事例をご紹介します。
- 10:50～12:00 **事例紹介② 飯田市:市民とともに歩む地域エネルギー会社**  
 おひさま進歩エネルギー株式会社 マネージャー 伊藤 緑氏  
 飯田市の公共施設の屋根を借りて設置した太陽光パネルの発電による電力を、市に買い取ってもらい事業を展開。事業で得られた収益を、地域の課題解決のために活用することで市民の再生可能エネルギー事業への参加と地域内の財貨循環につなげている事例をご紹介します。
- 13:00～14:10 **事例紹介③ 宇都宮市:地域新電力を中心とした持続可能な脱炭素モデル都市の構築**  
 宇都宮市環境部環境政策課  
 宇都宮市は、地域新電力会社を設立し、市内の再生可能エネルギーをLRTや公共施設に供給することで「再生可能エネルギーの地産地消」の実現を目指しています。将来的には、地域新電力会社をまちづくり会社へと発展させ、SDGsの達成に向けて、環境・経済・社会をつなぐ新しい地域サービスの創出を検討しており、その事例をご紹介します。
- 14:25～17:00 **演習 地域エネルギー事業を核とした地域の活性化**  
 京都大学大学院経済学研究科 教授 諸富 徹氏  
 これまでの講義内容および先進事例をもとに、シュタットベルケの仕組みを取り入れながら、地域の活性化につなげるための地域エネルギー事業を核とした方策について、グループで検討します。
- 17:00～ **課外学習**

令和2年

6月  
24日(水)

- 9:25～12:00 **演習 発表・講評**  
 京都大学大学院経済学研究科 教授 諸富 徹氏  
 グループごとに考察した内容や討議の成果を発表します。その後、講師より講評等をいただきます。
- 12:00～12:30 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。